

## 第2回 新型コロナウイルス感染症に関する

### 部長会議 会議録（要旨）

- 日 時 令和2年2月25日（火）午後2時05分～午後2時40分
- 会 場 市役所 応接会議室
- 出席者 市長、副市長、教育長、千曲坂城消防本部消防長、総務部長、企画政策部長、市民環境部長、健康福祉部長、次世代支援部長、産業振興課長（経済部長代理）、建設部長、議会事務局長、教育部長、総務課長、総合政策課長、財政課長、秘書広報課長、危機管理防災課長、健康推進課長、秘書係長、健康推進課予防保健係長

#### 1. 開 会

#### 2. 市長訓示

- 心配していた新型コロナウイルス感染症が県内発生し、先ほど県知事が記者会見で公表した。市においては、対策本部を設置し、出来る限りの対応をしていきたいと思っている。

#### 3. 会議事項

##### （1）新型コロナウイルス感染症の県内発生状況について

###### ◆説 明

- 松本保健福祉事務所管内の60歳の男性が、新型コロナウイルスに感染していることが確認された。北海道から東京に移動し、県内には2月19日に戻られた。その後、倦怠感や発熱の症状が出たことから、23日に松本保健福祉事務所へ電話相談し、一般診療所を受診した。24日には感染症指定医療機関に入院し、検査の結果、本日25日の朝に陽性であることが判明した。症状は重篤ではなく、会話が可能である。

###### ◆協議結果

- 情報共有。

##### （2）市の今後の対応について

###### （対策本部の設置について）

###### ◆説 明

- これまでの部長会議（対策会議）の中で、いずれは県内で発生するという共通認識を持っていた。県内で発生した場合は、次の段階の対応を検討することとしていた。本日の県内発生を受けて、対策本部の設置について協議したい。
- 先週の段階で、県下19市の中で7市が対策本部を設置していた。7市には市立病院と感染症指定医療機関がある。

###### ◆協議結果

- 2月25日（火）午後2時10分をもって「千曲市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置。

## ~~~~~以降、第1回千曲市コロナウイルス感染症対策本部会議に移行~~~~~

### (イベント等の中止について)

#### ◆説明

○今後の具体的対応の中で、イベント等の中止の判断が大きな課題となる。前回の会議では、県内で感染者が発生したら再度検討することになっていたため協議したい。

#### ◆主な意見・質疑等

○本日、政府の基本方針が決定される。そこにイベント等の中止について記載があるか注視している。今のところは主催者が判断することになっているが、県内で感染者が発生していることと、国では外出の自粛ということも謳っているので、イベント等の開催については再度確認してもらいたい。

○何らかの判断基準がないと難しい。他県では、自治体が主催するイベント等について、中止・延期の判断基準や、開催する場合でも感染予防の対応方法を示している。

○市が主催するイベント等のうち、屋内で人が多く集まるイベントは基本的に中止した方がよいのではないかと。

**【回答】**長野県の対応方法を注視したい。参加者が特定される場合は注意喚起して開催すればよいと思うが、不特定多数の方が集まるイベントについて判断に困っている。

○参加者が特定されていても、感染しているかどうかまでは分からない。

○ケースバイケースの対応では、担当部署で困ってしまう。

○高齢者や子どもが集まるようなイベント等は中止した方がよい。

○長野県の方針を確認するとともに、他自治体の例を参考にして指針を作ったらどうか。

#### ◆協議結果

○明日、再度本部会議を開催し、イベント等の中止・延期判断の指針を協議する。

### (学校の対応について)

#### ◆説明

○本日、教頭会を開催している。卒業式については、在校生は出席しないとか、来賓はお招きしない等、従来の形態ではない方法でできないか、計画を立てるようお願いしている。

○4月に中学校の修学旅行が計画されているが、県内では既に3校が延期の判断をしている。実行する20日前までであればキャンセル料がかからないため、当市でも延期の方向で考えている。

○本日、教育委員会から保護者宛に感染症予防に係る配慮について通知した。**【資料1参照】**

#### ◆協議結果

○情報共有。

### (千曲坂城消防本部からの情報について)

#### ◆説明

○1月1日(水)から2月24日(月)までの救急件数は591件、搬送患者は561人という状況であ

った。そのうちインフルエンザ等により、発熱を伴う患者は51人であり、搬送した患者は全て日本国籍を有する方であった。

○新型コロナウイルス感染症は、いまだに発生原因を特定できず、感染実態もつかめない状況となっている。全国的に感染が拡大している現状から、必要となる救急資機材の整備に加えて、消耗品についても備蓄管理している。

○消防本部の職員に対しては、救急車の消毒の徹底を指示している。また、横浜市消防局の職員も感染していることから、通常的な勤務日に加え、非番、公休日においても不要な外出を控える等の対応と、マスクの着用、うがい、手洗い等を励行している。更に、自宅内で定期的な検温をし、37度5分を超えた場合や倦怠感が継続している職員には、医療機関への受診を促すとともに、異常が認められた場合には勤務を控えるといった対応をしている。

◆**主な意見・質疑等**

○救急隊員が感染しないよう徹底してほしい。

◆**協議結果**

○情報共有。

**(千曲市職員の日常業務について)**

◆**説明**

○市職員にも自分の体調がすぐれない時は、休暇を取るよう注意喚起したい。

◆**主な意見・質疑等**

○市職員が感染することがないようにしてほしい。職員がいなければ今後の対応ができなくなる。

【回答】自分を守って組織を守るという態勢を取りたい。

○窓口業務を行っている職員には、マスクの着用を指示できないか。マスクの着用はお客様を守ることに繋がる。

◆**協議結果**

○職員のマスクの着用は、窓口業務の担当部署と相談の上、早急に進める。

○マスクを着用する場合には、お客様に不快感を与えないよう配慮するとともに、マスク着用の趣旨を掲示する。

**4. 閉 会**